

施設園芸ハウスにおけるウイルス病対策と雪害対策

1 施設野菜のウイルス病対策

施設野菜にウイルス病が発生すると、①葉が葉脈を残し黄変する(特に新葉部分)、②株の生育が悪く節間が詰まる、などの生育不良を起こし、収量が低下するなど大きな被害が出ます。

これらのウイルス病を媒介する害虫(表1)は、いずれも微小で、場内で発生を確認するのが難しいため、耕種的・物理的・薬剤の総合防除に取り組みましょう。

【防除対策6mポイント】

対策1 「入れない」

ハウス出入口や天窓・側窓など開口部に設置している防虫ネット(目合い0.4mm)に破れがあれば補修します。未設置の場合は、設置が必要です。赤色ネットを用いると、侵入防止に効果があります。

また、害虫の発生源やウイルスの保毒源となる雑草などの除去を徹底してください。

対策2 「出さない」

栽培終了時は、ハウスを蒸し込

み、害虫を死滅させることで、ハウス周辺への飛散を防ぎ、次作での侵入を抑えます。

対策3 「増やさない」

早期発見・防除に努めましょう。定植時の粒剤施用や、かん注処理が効果的です。また、施設内に粘着トラップを設置すると、微小害虫の密度を抑えるとともに薬剤防除時期の目安になります。農薬散布時には、農薬使用上の注意事項を遵守し、異なる系統の薬剤をローテーションで散布してください。



きゅうり黄化えそ病 トマト黄化葉巻病 きゅうり退緑黄化病

表1 微小害虫により媒介される主なウイルス

媒介害虫	ウイルス名	感染する主な作物
アザミウマ類	トマト黄化えそウイルス	トマト、ピーマン、ナスなど
ミナミキイロアザミウマ	メロン黄化えそウイルス	きゅうり、メロン、スイカなど
コナジラミ類	トマト退緑ウイルス	トマト
タバココナジラミ	トマト黄化葉巻ウイルス	トマトなど
	ウリ類退緑黄化ウイルス	きゅうり、メロン、スイカ

表2 降雪に対する施設園芸ハウスのチェックリスト

項目	チェック項目	チェック欄
降雪に関する気象情報が出たらチェックしましょう。	1 屋根被覆材表面にある突出物(防虫・防風ネット遮光資材等)の撤去による屋根雪の滑落促進	
	2 ブレース、ボルト等の締め直し	
	3 暖房機の燃油残量等の確認	
	4 ヒートポンプ室外機周辺のチェック	
	5 ハウス周辺の排水路の整備	
雪が降り始めたら降雪時の対策を確認して作業に入りましょう。	1 雪が積もったら速やかに雪下ろしを行う	
	2 ハウスサイドの除雪	
	3 ハウス両側を均等に除雪	
	4 暖房機の稼働、カーテンの開放による屋根雪の滑落促進	
	5 暖房機未設置のハウスはカーテンを開放し、地熱の放射による屋根雪の滑落促進	
	6 ヒートポンプ室外機周辺の除雪	
	7 ハウスの屋根に積雪がある場合は中に入らない	

2 ハウスの雪害対策

チェックリスト(表2)を活用し、事前・事後対策を徹底し、雪害防止に努めます。

また、倒壊の恐れのあるハウスには入らないなど、作業の安全確保を心がけてください。

(1) 事前対策

雪の滑落を妨げるネットなどの資材を撤去します。

ハウスの補強資材・固定部分の点検および積雪により負荷がかかる部分には筋交い・支柱で補強します。

また、暖房設備の点検と燃料

残量を確認し、ハウス周辺の排水路を確保します。

(2) 降雪時対策

カーテンを開け、暖房機を稼働させます。

また、積雪時には、作業の安全確保に努めつつ、速やかに雪下しを行ってください。

(3) 降雪後対策

施設の破損、倒壊が生じ、被害が軽微な場合は早急に修復を行い、低温による作物の被害を防止しましょう。

詳しくは埼玉県ホームページへ!

埼玉県 大雪による園芸用ハウスの被害調査結果と対策



